



平成27年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年4月10日

上場会社名 株式会社ワッツ 上場取引所 東
 コード番号 2735 URL http://www.watts-jp.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平岡 史生
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 森 秀人 TEL 06-4792-3280
 四半期報告書提出予定日 平成27年4月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年8月期第2四半期の連結業績（平成26年9月1日～平成27年2月28日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年8月期第2四半期	22,011	2.2	799	△11.8	800	△11.6	493	2.5
26年8月期第2四半期	21,545	5.1	906	△25.5	905	△25.5	480	△33.6

(注) 包括利益 27年8月期第2四半期 573百万円 (13.8%) 26年8月期第2四半期 503百万円 (△33.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年8月期第2四半期	36.40	—
26年8月期第2四半期	35.50	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年8月期第2四半期	19,053	8,762	46.0
26年8月期	18,977	8,420	44.4

(参考) 自己資本 27年8月期第2四半期 8,762百万円 26年8月期 8,420百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年8月期	—	0.00	—	17.00	17.00
27年8月期	—	0.00	—	—	—
27年8月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成26年8月期の期末配当金には、東京証券取引所市場第一部銘柄指定記念配当2円を含んでおります。

3. 平成27年8月期の連結業績予想（平成26年9月1日～平成27年8月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,300	4.0	1,790	0.3	1,800	0.0	1,040	9.7	76.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年8月期2Q	13,958,800株	26年8月期	13,958,800株
② 期末自己株式数	27年8月期2Q	410,825株	26年8月期	410,825株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年8月期2Q	13,547,975株	26年8月期2Q	13,548,006株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円安と原油価格の大幅下落を主因とする貿易収支の回復、設備投資需要の復調等が相まって幾分持ち直しの傾向が見られました。また、輸出企業を中心とした業績の回復、コーポレートガバナンスの充実期待等により、更なる株高基調と1ドル120円台の円安が定着いたしました。海外におきましては、米国経済の堅調ぶりが一層確かなものとなる一方、欧州は量的緩和政策の導入があったものの、ロシア経済失速リスク等もあり、デフレへの懸念は払拭されませんでした。中国では成長鈍化が見られる中、軟着陸に向けた構造調整色が濃い展開となりました。また、ASEAN諸国の景気は国別でまだら模様は見られるものの、総じて上向きとなりました。ただ、旧東欧、中東、アジア等における地政学上のリスクは継続しており、不安定要因が内包されたままとなりました。

小売業界におきましては、個人消費は政府主導の賃上げムードが醸成されつつあるものの、未だ物価の上昇に実質所得が追いついていないため家計の購買力が上昇せず、その改善は限定的で力強さが感じられない状況でありました。

このような環境のもと、100円ショップ「ミーツ」「シルク」等を展開する当社グループは、当連結会計年度から、ビジネスモデルの再構築を進めております。

これは、実生活雑貨を中心にお買い得感のある商品群をプライベートブランド「ワッツセレクト」として開発・販売し、店舗においてはローコストでの出店とローコスト・オペレーションを継続することで、お客様満足度の向上と店舗収益確保を両立させるという、従来培ってきたノウハウを活かしながらも、多様化する顧客ニーズに応えるために新たなブランド価値を創造すべく、店舗パッケージや商品構成、POSシステムの導入等のハード面、並びに店舗運営、従業員教育等のソフト面の双方を全面的に見直す取り組みであります。

当該取り組みによる第一号店として、会社設立20周年にあたる平成27年2月22日に、100円ショップミーツハーバーランド店（神戸市中央区）を全面リニューアルし、新ブランド店舗「100円ショップWatts（ワッツ）ハーバーランド店」としてオープンいたしました。今後の新店につきましても、一定以上の規模の店舗についてはWattsの屋号にて出店いたします。また、既存店につきましても、改装の都度、順次改称してまいります。

よりお客様に支持されるフォーマットへブラッシュアップすべく、継続して改善を重ねてまいります。

当社の基幹事業である国内100円ショップ事業におきましては、比較的売上規模の小さな店舗が多かったものの、通期計画の90店舗に対して66店舗の出店を行いました。一方で不採算店舗の整理や母店閉鎖等による退店が32店舗あり、当第2四半期連結累計期間末店舗数は直営が943店舗（35店舗純増）、FCその他が50店舗（1店舗純減）の計993店舗となりました。

その他の店舗の当第2四半期連結累計期間末店舗数につきましては、ナチュラル雑貨販売の「Buona Vita（ブォーナ・ヴィータ）」は直営を2店舗出店、直営、FCをそれぞれ1店舗退店し、28店舗となっております。生鮮スーパーとのコラボである「バリュー100」は、店舗数の増減はなく1店舗のままとなりました。加えて、雑貨販売事業における新たな挑戦として、キッチン用品、ランチグッズ、インテリア小物、靴下、アクセサリ等のおしゃれでカラフルな商品を100円、300円、500円の3つのプライスで取り揃えたスリープライスショップ「threege（スリージ）」を、平成26年11月、東京都板橋区成増に1店舗出店いたしました。

海外事業につきましては、東南アジアを中心とした均一ショップ「KOMONOYA（こののや）」は、タイでは1店舗出店、1店舗退店して15店舗、マレーシアでは1店舗出店して4店舗となっております。また、ベトナムにて商品とノウハウを提供して営業していた「KOMONOYA」1店舗を、現地小売企業をフランチャイジーとしたFC店舗といたしました。中国での均一ショップ「小物家園（こののかえん）」は、不採算店舗1店舗を退店しましたが、新たに代理商により蘇州に1店舗出店し、計2店舗となっております。加えて中国では、日系百貨店を中心とした催事販売を開始し、現在のところ好調に推移しております。また、平成26年8月に現地法人Watts Peru S. A. C. を設立したペルーでは、当第2四半期連結累計期間の出店はなかったものの、平成27年3月に「KOMONOYA」1号店を出店いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は22,011百万円（前年同四半期比2.2%増）、営業利益は799百万円（同11.8%減）、経常利益は800百万円（同11.6%減）、四半期純利益は493百万円（同2.5%増）となりました。

なお、当社グループの事業は、100円ショップの運営及びその付随業務の単一セグメントであるため、セグメントの記載をしておりません。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は14,787百万円となり、前連結会計年度末に比べ75百万円減少いたしました。これは主に、商品及び製品が407百万円増加した一方、受取手形及び売掛金が329百万円、現金及び預金が105百万円、それぞれ減少したことによるものであります。なお、現金及び預金につきましては、前連結会計年度末日、当第2四半期連結累計期間末日がともに金融機関の休日であり支払日が翌月に延びたことから、通常より高い水準で推移しております。

固定資産は4,266百万円となり、前連結会計年度末に比べて151百万円増加いたしました。これは主に、出店に伴って建物及び構築物が26百万円、工具、器具及び備品が10百万円、差入保証金が26百万円、それぞれ増加したことによるものであります。また、投資有価証券が39百万円、繰延税金資産が34百万円増加しております。

この結果、総資産は、19,053百万円となり、前連結会計年度末に比べ76百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は9,284百万円となり、前連結会計年度末に比べ360百万円減少いたしました。これは、未払法人税等が26百万円増加した一方、一年内返済予定の長期借入金が52百万円、未払消費税等が43百万円、それぞれ減少したことなどによるものであります。なお、支払手形及び買掛金につきましても、前述の現金及び預金と同様の要因から通常より高い水準で推移しております。

固定負債は1,006百万円となり、前連結会計年度末に比べ93百万円増加いたしました。これは主に、長期借入金が92百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、10,290百万円となり、前連結会計年度末に比べ266百万円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は8,762百万円となり、前連結会計年度末に比べ342百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が262百万円増加したことによるものであります。この結果、自己資本比率は46.0%（前連結会計年度末は44.4%）となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計期間末に比べて105百万円減少し、6,609百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、獲得した資金は301百万円（前年同四半期は421百万円の使用）となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益768百万円、売上債権の減少額331百万円、減価償却費127百万円であります。支出の内訳は、たな卸資産の増加額393百万円、法人税等の支払額290百万円等であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は244百万円（前年同四半期は400百万円の使用）となりました。この内訳は、新規出店等のための有形固定資産の取得による支出207百万円、敷金及び保証金の差入による支出89百万円、店舗閉鎖等による敷金及び保証金の回収による収入66百万円等であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は189百万円（前年同四半期は814百万円の使用）となりました。この内訳は、長期借入れによる収入500百万円、長期借入金の返済による支出459百万円、配当金の支払額229百万円等であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成26年10月10日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,714,266	6,609,251
受取手形及び売掛金	2,318,842	1,989,398
商品及び製品	5,225,992	5,633,002
原材料及び貯蔵品	8,591	8,261
繰延税金資産	238,186	240,604
未収消費税等	6,922	682
その他	374,647	328,913
貸倒引当金	△24,686	△22,966
流動資産合計	14,862,762	14,787,148
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	944,176	993,156
減価償却累計額及び減損損失累計額	△596,556	△619,128
建物及び構築物（純額）	347,620	374,027
車両運搬具	8,690	6,723
減価償却累計額及び減損損失累計額	△7,518	△5,950
車両運搬具（純額）	1,172	773
工具、器具及び備品	2,579,972	2,660,661
減価償却累計額及び減損損失累計額	△2,066,379	△2,137,005
工具、器具及び備品（純額）	513,593	523,655
土地	257,800	257,800
有形固定資産合計	1,120,186	1,156,256
無形固定資産		
その他	33,254	37,856
無形固定資産合計	33,254	37,856
投資その他の資産		
投資有価証券	245,643	285,178
繰延税金資産	98,281	133,072
差入保証金	2,536,515	2,562,932
その他	110,691	120,252
貸倒引当金	△29,497	△28,849
投資その他の資産合計	2,961,634	3,072,586
固定資産合計	4,115,075	4,266,700
資産合計	18,977,838	19,053,848

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成26年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,170,185	7,165,332
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	679,491	627,177
未払法人税等	294,209	320,308
未払消費税等	154,680	111,349
賞与引当金	139,659	145,729
その他	1,106,975	814,808
流動負債合計	9,645,201	9,284,705
固定負債		
長期借入金	403,783	496,462
退職給付に係る負債	140,719	148,235
役員退職慰労引当金	102,751	100,208
資産除去債務	75,691	68,469
その他	189,445	192,788
固定負債合計	912,391	1,006,164
負債合計	10,557,592	10,290,869
純資産の部		
株主資本		
資本金	440,297	440,297
資本剰余金	1,583,816	1,583,816
利益剰余金	6,434,626	6,697,430
自己株式	△84,123	△84,123
株主資本合計	8,374,618	8,637,421
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,196	15,695
為替換算調整勘定	33,430	109,861
その他の包括利益累計額合計	45,627	125,557
純資産合計	8,420,245	8,762,978
負債純資産合計	18,977,838	19,053,848

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年9月1日 至平成26年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年9月1日 至平成27年2月28日)
売上高	21,545,071	22,011,280
売上原価	13,358,680	13,650,608
売上総利益	8,186,390	8,360,671
販売費及び一般管理費	7,280,131	7,561,113
営業利益	906,258	799,558
営業外収益		
受取賃貸料	12,227	11,653
持分法による投資利益	7,262	10,892
貸倒引当金戻入額	6,802	3,574
その他	6,879	7,466
営業外収益合計	33,172	33,587
営業外費用		
支払利息	3,819	2,988
退店違約金	10,243	20,361
賃貸収入原価	5,436	5,403
為替差損	7,881	—
その他	6,434	3,446
営業外費用合計	33,815	32,199
経常利益	905,615	800,945
特別利益		
固定資産売却益	1,826	223
保険解約返戻金	6,284	229
受取補償金	—	336
特別利益合計	8,110	789
特別損失		
固定資産除却損	2,851	18,501
減損損失	8,641	14,746
特別損失合計	11,493	33,248
税金等調整前四半期純利益	902,232	768,486
法人税、住民税及び事業税	436,629	316,272
法人税等調整額	△15,285	△40,904
法人税等合計	421,344	275,368
少数株主損益調整前四半期純利益	480,888	493,118
四半期純利益	480,888	493,118

（四半期連結包括利益計算書）
（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成25年9月1日 至 平成26年2月28日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成26年9月1日 至 平成27年2月28日）
少数株主損益調整前四半期純利益	480,888	493,118
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,558	3,498
為替換算調整勘定	20,380	51,622
持分法適用会社に対する持分相当額	△5,164	24,808
その他の包括利益合計	22,773	79,929
四半期包括利益	503,662	573,048
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	503,662	573,048

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年9月1日 至 平成26年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年9月1日 至 平成27年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	902,232	768,486
減価償却費	115,320	127,351
減損損失	8,641	14,746
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△4,059	△2,368
賞与引当金の増減額 (△は減少)	5,810	6,070
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	4,693	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	—	7,515
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	5,555	△2,543
受取利息及び受取配当金	△1,201	△1,614
支払利息	3,819	2,988
固定資産除却損	2,851	18,501
売上債権の増減額 (△は増加)	495,121	331,456
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△253,474	△393,204
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,109,700	17,765
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△6,260	△36,599
その他	△409,785	△265,437
小計	△240,434	593,115
利息及び配当金の受取額	1,053	1,553
利息の支払額	△3,666	△2,966
法人税等の支払額	△178,186	△290,258
営業活動によるキャッシュ・フロー	△421,233	301,443
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△275,473	△207,214
有形固定資産の売却による収入	2,379	360
敷金及び保証金の差入による支出	△119,203	△89,653
敷金及び保証金の回収による収入	51,546	66,588
資産除去債務の履行による支出	—	△5,575
その他	△59,668	△9,308
投資活動によるキャッシュ・フロー	△400,419	△244,803
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△40,000	—
長期借入れによる収入	—	500,000
長期借入金の返済による支出	△545,468	△459,635
配当金の支払額	△229,170	△229,580
財務活動によるキャッシュ・フロー	△814,638	△189,215
現金及び現金同等物に係る換算差額	13,859	27,560
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,622,431	△105,014
現金及び現金同等物の期首残高	6,280,114	6,714,266
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,657,683	6,609,251

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。